

学校教育目標	～健康でかがやく子～			
	○ 自ら学ぶ子 (知)	○ 豊かであたたかい心をもつ子(徳)	○ 健やかに成長する子(体)	
	○ 共に生きる子(公)	○ 広い視野のもてる子 (開)		

学校概要	創立 53 周年	学校長 荒井 健	副校長 京樂 眞次	2 学期制	一般学級: 18	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 633 人	主な関係校: 篠原中学校・六角橋中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	篠原中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> ・協働的に課題解決に取り組む姿勢等 <心身ともにたくましく生きる力> ・健康な生活を実践する態度等 <自分づくりに関する力> ・地域を愛する気持ち、自己肯定感等	篠原中学校 篠原小学校 港北小学校	○自己肯定感をもち、未知のことへ主体的にかかわる子ども ○他者への感謝の気持ちが育ち、自らも社会貢献する子ども ・ブロックでの公開授業研を通して、教育課程や指導内容の見直しを図ることで、小中連携の一層の充実を図る。 ・中学生の地域への参画状況を紹介し、地域への参加意識・参画意識を高める。 ・篠原中学校生徒との交流を通して、中学生への尊敬や感謝の気持ちを育てる。

中期取組目標	○ 豊かな学びの環境づくりと授業の充実への取組を組織的に進め、子どものよりよい成長を実現していきます。 ○ 一人ひとりの気持ちに寄り添うとともに、「共有体験」を大切にした教育活動を展開することで、子ども一人ひとりが安心して豊かに学校生活を送ることができるようにします。 ○ 「健康貯金ファイル」などの健康教育の推進を通して、自らの健康の保持増進を図ることができるようにします。 ○ 地域と連携した教育活動を通してまちを愛する心を育てるとともに、将来自らも社会貢献していこうとする意識を育みます。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①感染症対策をふまえた上で、たてわり活動や毎朝の登校班での交流を通して、異年齢同士のつながりを豊かにする。②積極的な声かけにより、あいさつの日常化を引き続き図る。③感染症対策をとり、「共有体験」を大切に教育活動を工夫しながらできる限り展開し、自他肯定感を高める。
担当 人権・児童指導部	
健やかな体	①感染症を予防し、心と体のケアに努める。②「健康貯金ファイル」を通じた取組を継続し様々なテーマでの保健指導を行う。③縄跳び集会等の機会を生かし体力づくりに取り組む。④保護者と連携し健康な生活について考えていく機会をもつ。⑤栄養教諭を中心に、食に関する指導を充実させる。
担当 保健安全部	
特別支援教育	①学生ボランティアの依頼等を通して、限られた人員の中でのサポート体制の維持・継続を図る。②研修を充実し、特別支援教育への視野をさらに広げ、日常の指導に生かす。③ユニバーサルデザイン教育の理解を深め、教室環境の改善を継続して行う。④視聴覚機器の日常的な活用を図る。
担当 特別支援委員会	
生きてはたらく知	①TT指導、教科担任制など、多くの教員が関わる授業形態を、学年の実態に応じ、効果的に取り入れていくことで基礎・基本の定着を図っていく。②授業力と学級経営力を高め、児童の自己表現力を育成する。③一人1台のタブレット端末を中心にICT機器を活用し、教育活動をさらに充実させていく。
担当 学校運営部	
児童生徒指導	①「西小ルールブック」が実態に合っているか、確認と見直しを随時行い適切な指導につなげる。②児童理解に関する情報共有の場を設定し、指導、対応の共通理解を図る。③日常観察やいじめ調査、保護者、SC・SSWとの連携を通して児童の状況を的確に把握し組織的に素早く支援していく。
担当 人権・児童指導部	
地域連携	①感染防止に向け、限定された地域・PTA活動への、効果的な関わり方を考え、子どものよりよい成長につなげる。②地域コーディネーターとの連携をしっかりとっていく。「ポプラ隊」を中心とした教育ボランティアへ、各学年のニーズに応じた協力依頼を積極的に行い、教育活動のさらなる充実を図る。
担当 特別委員会	
公共心と社会参画	①地域行事・登下校だけでなく全校遠足や社会科見学、校外学習など多くの場面で自分たちを支えている人々に対し感謝の気持ちを自然にもてるように心をたがやす。②地域行事に参加し、地域の人のふれあいを通して思いや願いを知り、よりよい生き方につなげる。
担当 特別委員会	
教育環境整備 (図書整備)	①学校司書・図書ボランティアの方々と連携し、図書館環境・読書環境のさらなる整備を進め、児童の読書への意欲を高める。また、学習指導要領の改訂に伴い、必要となった平行読書や資料を揃えていく。②図書館だより等、図書館からの発信をさらに充実し、校内、家庭での読書推奨につなげる。
担当 図書部	
いじめへの対応	①アンケートやYPアセスメントを効果的に活用し、SCやSSWと連携して実態の把握をする。②「特別の教科道徳」において、自己を見つめ、自らの考えを広め、深める力を育む学習を行う。③人権研修の充実により、教職員の人権感覚・人権意識を高め、児童の人権感覚・人権意識の向上につなげる。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①重点研究と、メンターチーム研修の2つを柱にすえ、学年・ブロックを中心に研究をすすめ、授業力向上と人材の育成につなげる。②学年主任会で、各学年の取り組みを共有し、研究を深める。③教育ボランティアへの協力依頼、専門業務の業者委託、会議の精選と効率化、電子申請システムの活用等を進め、教職員の過負担軽減につなげる。
担当 教務部	